

## ニカラグア定期報告（2024年2月～3月）

### 【要旨】

内政面では、南北カリブ沿岸自治区地方選挙が、地域政党の出馬が禁じられた中で実施された。外交面では、ニカラグア政府が、資金洗浄により有罪判決を受けているマルティネリ元パナマ大統領の亡命を認めた他、米政府が非正規移民輸送に関わる民間企業への新たな制裁を発動した。経済面では、中国によるプンタ・ウエテ国際空港の再建に関する経済協力プロジェクトが国会承認された。

### 【主な出来事】

#### 1 内政

##### （1）南北カリブ沿岸自治区地方選挙

3月3日、南北カリブ沿岸自治区地方選挙が行われ、国家最高選挙管理委員会（CSE）は政権与党サンディニスタ民族解放戦線（FSLN）が88.95%の得票率を得た旨発表した。本選挙は、昨年10月に法人格が取り消された地域政党である、母なる大地の子党（YATAMA）の出馬が禁じられていた中で行われたが、大きな混乱は報告されていない。

##### （2）イベント等の開催における新たな規制

3月12日、内務省は治安維持を目的として、ニカラグア国内で行われるイベントやコンサート、公演などの実施の際、ニカラグア国内団体との共催や事前の承認、政治的発言の禁止を規定した法令の改正を発表した。

#### 2 外交

##### （1）マルティネリ元パナマ大統領の在パナマ・ニカラグア大使館への亡命

2月7日、ニカラグア外務省は、ニュービジネス事件における資金洗浄による有罪判決が確定しているマルティネリ元パナマ大統領について、同元パナマ大統領の法的・政治的状況に関し同元大統領が政治的理由に迫害されており、またその生命、身体及び安全に対する差し迫った危険にさらされているとして、政治亡命を認めることをパナマ外務省宛に通知した。なお、同9日、パナマ外務省はこれを拒否する旨ニカラグア側に通知した。

##### （2）ボリビア外相の当国訪問

2月13日～15日、ソサ・ボリビア外相が当国を訪問し、同14日にはボラス当国国会議長と会談し両国の友好関係を強化、また、マナグア革命広場にて英雄記念碑へ献花を行った。

(3) 米国

ア 非正規移民輸送に関わる航空機、陸上輸送、船舶運航会社への米制裁適用

2月21日、米務省は、非正規移民を対象としたチャーター航空機、陸上輸送機関、および船舶を運航する民間企業のオーナーや重役ら個人を対象とした新たな査証制裁（制限）措置を開始した。この新しい政策は、2023年11月のチャーター機に関する制裁を拡充するものである。

イ 米が新たに導入した防衛関連製品等の取引に関する制裁

3月14日、米国政府はニカラグアに対して国際武器取引規則（ITAR）を修正し、ニカラグアを目的地とする若しくは同国を由来とする防衛関連製品の輸出入及び同サービスに関して規制を発動した。

本件措置に際し、米国は、ニカラグア国民に対するオルテガ・ムリージョ政府による継続している圧政を深く懸念し、不正にまみれた南北カリブ沿岸自治区議会議員選挙についても憂慮を示し、今後ともすべての外交的・経済的手段を用いてオルテガ・ムリージョ体制に説明責任を果たさせるよう働きかけ、公正で栄えある未来のために戦うニカラグア人の基本的人権と自由を支援するとした。

ウ 米によるニカラグア検察長官への制裁発動

3月21日、米財務省外国資産管理局（OFAC）は、オルテガ・ムリージョ体制による圧制の共犯としてウェンディ・モラレス・ニカラグア検察長官への制裁を発動した。今回の措置は、大統領行政命令13851号に従って、ニカラグア国内にて政治犯や市民社会への同国体制による不正な迫害におけるキーパーソンをターゲットとしたものであるとのこと。

(4) ロシア

ア パトルシェフ露安全保障会議書記のニカラグア訪問

ニコライ・パトルシェフ露安全保障会議書記が2月26日から当国を訪問し、同27日、アビレス・ニカラグア国軍司令官、ボリビア、キューバ、及びベネズエラの代表団らと会合を行った。この会合の中でアビレス司令官は、安全保障面における結束を強化しつつ、米国とその同盟各国による攻撃に連携して防衛すべしとの意向を示した。また、同28日、パトルシェフ書記は、オルテガ大統領及びムリージョ副大統領を表敬した。

イ ロシアとの原子力医学研究センター開発の覚書署名

3月26日、露ソチにて開催されている ATOMEXPO2024 国際フォーラムにおいて、ロシア（イゴール・オブルボフ国営 ROSATOM 社部長）及びニカラグア（オスカル・バスケス保健省保健サービス局長）は、ニカラグア国内の原子力医学研究センター建設計画の枠組み

において両国が協力関係を構築するためのロードマップ（指針）についての覚書に署名した。

（５）駐アンゴラ・ニカラグア大使の信任状奉呈

２月２８日、リオス駐アンゴラ・ニカラグア大使は、ジョアン・ロウレンソ・アンゴラ大統領に対し信任状を奉呈した。両国は、農業、教育、保健分野での発展に向けた協力関係を目指す意向を示している。なお、両国の外交関係は１９７９年から続いているものの、大使館の設置は２０２３年が初めて。

（６）ドイツに対する国際司法裁判所提訴

３月１日、ニカラグア政府はイスラエル・パレスチナ問題をめぐり、ドイツに対しジェノサイド条約をはじめとした国際人道法違反を理由に、国際司法裁判所（ＩＣＪ）に提訴したと発表した。

（７）中国

ア 中国との宇宙関連協力の覚書署名

３月１８日、ニカラグアを訪問中の中国深宇宙探査ラボラトリー（国家航天局（CNSA）内にある組織）は、国立大学審議会と国際月研究ステーション（ILRS）の開発において双方に利益をもたらす相互協力の基盤提供を目的とした覚書に署名した。同覚書は、署名日に発効し５年間有効となる。同覚書には、両国が国際月研究ステーション協力イニシアティブに対応し、宇宙における人類運命共同体の構築に貢献するため、ILRSの建設を共同で実施すること等が記載されている。

イ 中国企業他による英国へのサイバー攻撃を受けた米英制裁への非難

３月２９日、ニカラグア政府は、英国外務省が英国選挙管理委員会等へのサイバー攻撃疑惑を受け同２５日中国企業他に制裁を課したことにに関して、「帝国主義による攻撃」であるとして中国を擁護し英国を非難する声明を発出した

３ 経済

（１）プンタ・ウエテ国際空港の再建に関する経済協力プロジェクトの国会承認

２月９日、ニカラグア国会はニカラグア財務省と中国国営企業（CAMCE）との間で締結した、プンタ・ウエテ国際空港再建に関するクレジット契約を全会一致で承認した。同契約は２つのフェーズで構成されており、第一フェーズは１４億３，８４２万人民元、第二フェーズは１４億３，６２３万人民元となっており、総額は２８億７，４６５万人民元（注：約４億７２万米ドル）である。また実行期間は４年から５年を予定している。

(2) 中米経済統合銀行（BCIE）総裁によるニカラグアへの融資見直し発言

3月7日、サンチェス中米経済統合銀行（BCIE）総裁が、ニカラグア及びエルサルバドルに対する同行融資額がBCIE加盟国の中で特に多く、融資ポートフォリオを見直す意向である旨発言したことを受け、アコスタ財務・公債大臣がサンチェス総裁の発言が不適切であったと抗議する声明を発出した。

(3) 米格付け会社「ムーディーズ」によるニカラグア債権の信用格上げ

3月15日、米国格付け会社「ムーディーズ」は、ニカラグア政府の長期自国通貨建て及び外貨建て債権の格付けをB3からB2に引き上げ、今後の見通しを安定的と評価した旨の報告書を発表した。

(4) 最低賃金増加率の決定

ア 2月29日、労働者、企業経営者、当国政府によって構成されるニカラグア最低賃金委員会は、本年3月1日から1年間（2025年2月28日まで）を期限として最低賃金を10.1%増額することで合意した。

イ 業種毎の最低賃金上昇率（新規最低賃金額）（1米ドル＝36.625コルドバ）

- 農牧業： 10.1%（5,721.17コルドバ）
- 漁業： 10.1%（8,699.23コルドバ）
- 鉱業・石工業： 10.1%（10,275.02コルドバ）
- 製造業： 10.1%（7,992.75コルドバ）
- 手工・観光産業： 10.1%（6,027.72コルドバ）
- 高熱費・観光・通信業： 10.1%（10,493.79コルドバ）
- 建設・金融業： 10.1%（12,803.47コルドバ）
- 公務員： 10.1%（7,134.52コルドバ）
- フリーゾーン： 8.0%（8,745.46コルドバ）（本年1月発効済み）

(5) ニカラグア経済情勢にかかる「2023年年次報告書」の公表

3月27日、ニカラグア中銀は「2023年年次報告書」を公表した。2023年のGDP成長率は+4.6%。失業率は3.4%であった。

＜主要経済指標＞

|                | 2021 年<br>12 月 | 2022 年<br>12 月 | 2023 年  |         | 2024 年  |
|----------------|----------------|----------------|---------|---------|---------|
|                |                |                | 11 月    | 12 月    | 1 月     |
| 年間累計インフレ率      | 7.21%          | 11.59%         | 3.98%   | 5.60%   | 0.28%   |
| 貿易収支（百万ドル）     | ▲206.1         | ▲325.8         | ▲360.6  | ▲382.9  | ▲242.5  |
| 輸出 FOB（百万ドル）   | 296.8          | 282.9          | 303.6   | 281.0   | 320.4   |
| 輸入 FOB（百万ドル）   | 502.9          | 608.7          | 664.2   | 663.9   | 562.9   |
| 海外送金受取額（百万ドル）  | 213.7          | 337.1          | 395.4   | 420.3   | 366.8   |
| 外貨準備高（百万ドル/期末） | 4,000.6        | 4,404.4        | 5,360.6 | 5,447.0 | 5,471.6 |

（出典：ニカラグア中央銀行、インフレ率のみ開発情報庁（INIDE））